

つくばこどもの 青い羽根基金



アニュアルレポート

つくば市

2022年10月発行

小さなやさしさのつみかさねが、 子ども達の大きな未来につながります。

家庭の経済的な状況に左右されず、
子ども達が安心して学び生活できる環境づくりのためには
貧困から貧困への負の連鎖を断ち切ることが必要です。
将来世代に貧困を継続させない仕組みづくりを目指し
つくば市は 2018 年 4 月、こども未来室を設置しました。

2019 年 4 月には、子どもの未来を応援する取組みとして、
「つくばこどもの青い羽根基金」を創設しました。

みなさまからいただいたご寄付によって
「子どもの未来支援事業」を行うことが可能となり、
ボランティアのみなさまのご尽力で
多くの子どもたちに学びの機会や食を通じた居場所等を提供することができました。
また、新型コロナウイルス感染症による臨時休校期間中、
経済的に困難を抱える世帯の小・中学生に食の緊急支援も実施でき、
保護者や子ども達から、多くの感謝の声が寄せられました。

2022 年 4 月、福祉部こども未来室と、こども部子育て相談室が一つとなり、
こども部こども未来課を設置し、より包括的・包摂的に困難を抱える
子どもと保護者への支援を進めていきます。

今後もみなさまからの貴重なご寄付を、
すべての子ども達が夢と希望をもって
成長していけるよう事業に大切に活用していきます。

貧困の連鎖を断ち切るために
誰一人取り残さない
「世界のあした」を。



寄付金の活用事業（子どもの未来支援事業）

子どもの未来支援事業の概要

家庭の経済的な状況に左右されず、子ども達が安心して学び生活できる環境づくりを推進し、貧困から貧困への負の連鎖を断ち切ることで、将来世代に貧困を継続させない仕組みづくりを行う。



つくばこどもの青い羽根学習会

事業費の財源内訳

国の補助金、市の一般財源及び青い羽根基金を活用

生活保護または就学援助受給世帯の子どもに対して学習支援や安心できる居場所の提供等を行い、学習習慣や生きる力、自己肯定感を育む。

2018年度3教室から事業を開始し、2021年度は16教室で実施。

青い羽根学習会 実績	2018年	2019年	2020年	2021年
実施箇所数（箇所）	3	13	14	16
登録児童・生徒数（人）	80	236	299	332

■ アンケートから利用者の声を抜粋



児童

質問したところを分かりやすく説明してくれて解けるようになった！



保護者

学習面や進路等の不安があったが、学習会に行き始めてからは不安が減った。本人も自信ができてきた。

居場所づくり支援事業（青い羽根のいえ）

事業費の財源内訳

国の補助金、市の一般財源及び青い羽根基金を活用

孤立を防ぎ、生活習慣を向上させることにより貧困の連鎖を断ち切ることを目的として、複合的な困難を抱える1～9年生を対象に週3回、食事の提供や青い羽根のいえまでの送迎を実施し、安心して過ごすことのできる居場所を提供。

また、利用する子ども達に宿泊学習やクリスマス会、誕生日会など、家庭で行うことができなかった体験活動を多数実施。

利用する子ども達の状況として、不登校気味だった子どもが自分自身で登校できるようになったり、物や人に当たることでしか感情を伝えることができなかった子どもが気持ちを言葉で表現できたり、自分の行動を見直し、他者と交流できるようになった等、良い変化が見られている。

みんなの食堂事業補助金

事業費全額青い羽根基金を活用

食を通じた居場所づくりを支援。(子どもから、お年寄りの方まで誰でも行くことができるみんなの居場所)

みんなの食堂実施団体に補助金を交付。

- ・補助金額 月1回実施 50,000円/年
月2回実施 100,000円/年
- ・補助対象 食材費、消耗品費、保険料など



みんなの食堂 実績	2019年	2020年	2021年
全団体数	6	7	7
うち補助金交付団体数	4	5	5
延べ利用者数(人)	379	2,162	3,103



子どもの学習塾代助成

事業費全額青い羽根基金を活用

生活保護または就学援助受給世帯の中学生に学習塾の利用にかかる授業料の一部を助成し、子ども達に学びの機会を提供。

学習塾代助成 実績	2019年	2020年	2021年
利用生徒数(人)	14	21	22

■ アンケートから利用者の声を抜粋



生徒

通信教育から塾に切り替えることができ、成績が上がった!



保護者

塾代助成のおかげで、塾で学ぶ教科数を増やすことができました。

新型コロナウイルス感染症の影響に対する食の支援

事業費全額青い羽根基金を活用

臨時休校で給食がなくなった期間、経済的理由や保護者の疾病等で昼食を取ることが困難な子ども達に弁当等を配布。

- ・2020年4月13日～6月5日(土曜日、日曜日、祝日を除く39日間、約6,000人分を配布)
- ・2021年9月6日～9月17日(土曜日、日曜日を除く10日間、約2,500人分を配布)

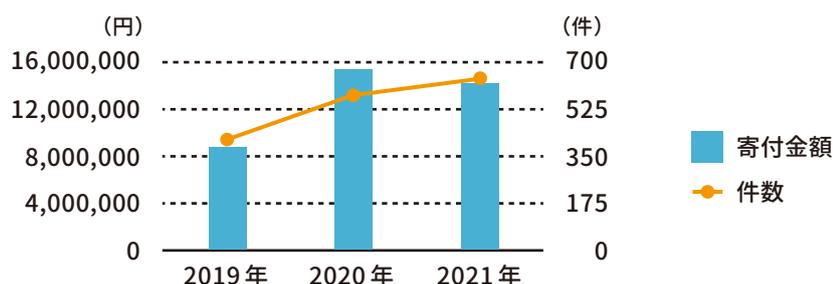
※延べ人数で表記しております

今後も新型コロナウイルス感染症の状況により支援予定。

つくばこどもの青い羽根基金実績

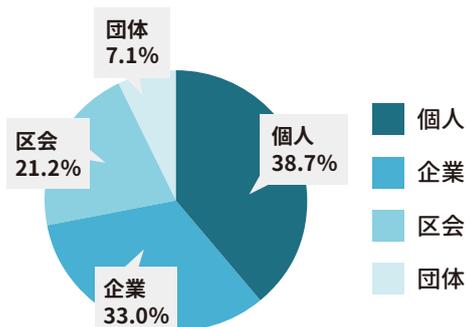
寄付金額・件数の推移

寄付者属性	2019年	2020年	2021年
個人	3,631,055円 (149件)	7,184,504円 (254件)	4,075,367円 (277件)
企業	2,536,367円 (63件)	4,055,801円 (74件)	6,099,638円 (116件)
区会	1,832,661円 (181件)	3,156,274円 (245件)	3,161,290円 (239件)
団体	781,363円 (23件)	1,082,877円 (4件)	857,029円 (8件)
合計金額	8,781,446円 (416件)	15,479,456円 (577件)	14,193,324円 (640件)



過去3年間の寄付金額の内訳

寄付者属性	寄付金額 (円)	割合 (%)
個人	14,890,926	38.7
企業	12,691,806	33.0
区会	8,150,225	21.2
団体	2,721,269	7.1
合計金額	38,454,226	100.0



今後の寄付金の活用について

新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、困難を抱える子ども達にとって安心できる居場所や学習支援はより重要なものとなっております。「貧困の連鎖を断ち切る」「誰一人取り残さない」という理念のもと、先述の子どもの未来支援事業を継続しながら事業の拡充を行い、今後も「つくばこどもの青い羽根基金」を有効に活用していきます。

今後の拡充予定

- ・つくばこどもの青い羽根学習会
学習拠点を更に増設し、市内全小学校区での開設を目指していく
- ・居場所づくり支援事業
学校や関係機関と連携を深め、複合的な困難を抱える子ども達の支援を強化し、拠点の増設等も検討しながら事業を進めていく
- ・みんなの食堂事業
市報やSNS等による事業の周知を強化することで、支援団体を増やし、市内全中学校区でのみんなの食堂開設を目指していく

ご支援いただいた企業・団体の皆様

※つくばこどもの青い羽根基金に10万円以上の寄付を頂き、公表に同意を得た企業・団体のみ掲載

2019年度	50万円以上	■ 関彰商事	(五十音順)
	30万円以上	■ つくばマラソン実行委員会	
	10万円以上	■ アイネクスト ■ あおぞら ■ ウォーターエージェンシー茨城営業所 ■ 幸和義肢研究所 ■ システムコピー販売 ■ 塚本建装 ■ 筑波銀行 ■ つくば市農業協同組合 ■ つくば市谷田部農業協同組合 ■ トレジャーボックス茨城支店 ■ 広沢土地倉庫 ■ ミリオン・ベル	
2020年度	100万円以上	■ つくばOAKライオンズクラブ	
	50万円以上	■ 関彰商事	
	30万円以上	■ 大堀電気工事 ■ 東京電機	
	20万円以上	■ つくばキリストの愛教会 ■ ツクバメンテナンス ■ bring	
	10万円以上	■ あおぞら ■ イートランド ■ ウォーターエージェンシー茨城営業所 ■ システムコピー販売 ■ 塚本建装 ■ つくば市医師会 ■ つくば市農業協同組合 ■ つくば市谷田部農業協同組合 ■ トレジャーボックス茨城支店 ■ とんきゅう ■ ミリオン・ベル	
2021年度	100万円以上	■ 今川医療福祉グループ ■ 向日葵企画	
	30万円以上	■ 桜地区区会連合会 ■ つくば学園ロータリークラブ ■ 東京電機	
	20万円以上	■ スマイルワークス	
	10万円以上	■ あおぞら ■ ウォーターエージェンシー茨城営業所 ■ 荃崎地区区会連合会 ■ 幸和義肢研究所 ■ システムコピー販売 ■ 昌輝 ■ 千勝神社 ■ 筑南総合建設協同組合 ■ 塚本建装 ■ つくばエッサ ■ つくばキリストの愛教会 ■ つくば市医師会 ■ つくば市農業協同組合 ■ つくば市谷田部農業協同組合 ■ 東京空色 ■ トヨシマ総合建設 ■ トレジャーボックス茨城支店 ■ ペンギンシステム ■ 松代歯科医院 ■ 俐玖	



日頃よりつくばこどもの青い羽根基金へご支援を頂き、ありがとうございます。

2018年から始めた「子どもの未来支援事業」は、みなさまからの貴重なご寄付によって継続することができ、年々事業を拡大しています。頂いたご寄付を活用してこれまで行ってきた事業内容や成果、そして今後力を入れていく事業について、アニュアル（年次）レポートを作成しました。

今後も、目に見えて貧困状態にある子どもや保護者の支援はもちろんのこと、潜在的に支援が必要な子どもや保護者にもつながりを持つことを心がけ事業を拡げていきます。

貧困の連鎖を断ち切り、すべての子ども達が夢と希望をもって成長していける社会をともに創るために、これからもご理解・ご支援の程、よろしくお願い申し上げます。



つくば市長

誰一人、取り残さない「世界のあした」を。

つくばこどもの青い羽根基金

子どもの未来を支援するための「つくばこどもの青い羽根基金」に、寄付のご協力をお願いいたします。寄付金は、世代を超えた貧困の連鎖を断ち切るとともに、すべての子ども達が夢と希望を持って成長していけるよう事業に活用させていただきます。

寄付の申込方法

- 1 市ホームページから(クレジットカード決済可)
- 2 申込書(市ホームページに用意)を郵送
- 3 こども未来課で直接

つくばこどもの青い羽根

検索



世界の
あしたが見えるまち。
TSUKUBA

発行

つくば市こども部こども未来課
〒305-8555 つくば市研究学園一丁目1番地1
☎029-883-1111 (代)